

施策番号	1101		
施策名	京都で学び、住み続けたいとなる「大学のまち」の実現		
概要	世界中の学生が学びたいとなる「大学のまち京都」を実現するため、大学施設の拡充と市内への回帰を促すとともに、個性あふれる大学が集積している利点を生かして、「学びの環境」を充実する。		
担当局・部室	総合企画局・総合政策室	共管局・部室	
上位政策	11 大学		
施策に関係する 主な分野別計画等	大学のまち京都・学生のまち京都推進計画2014-2018		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		24年度	25年度	26年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	大学コンソーシアム京都加盟校に占める単位 互換制度参加大学・短期大学の割合(%)	-	-	96	96	100.0	96.0%	a	1.00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		26年度回答					有効回答 者数	評価
		そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう思わ ない	そう思わ ない		
1	京都は、「大学のまち」として学びの環境が充実し、多 様な伝統文化芸術等に触れる機会に恵まれている。	127 25.2%	259 51.4%	93 18.5%	18 3.6%	7 1.4%	504	a
2	-							-
3	-							-
4	-							-
5	-							-
		市民生活実感調査総合評価						a

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

A	施策の目的が十分に達成されている					25 年度	A
	重み付け	☐ 客観指標	a	☒ 市民の実感	a		
(重み付けの理由) 学生や市民が京都で学び住み続けたいくなることを目指す施策であるため、市民の実感を重視する。						25 年度	A
(原因分析) 【客観指標】公益財団法人大学コンソーシアム京都に加盟している大学・短期大学のうち、単位互換制度(他大学が提供する科目を単位として認定する制度)に参加する加盟大学・短期大学が、96パーセントのa評価となり、個性あふれる大学が集積している利点を生かした大学間連携による「学びの環境」が充実している。 【市民の実感】3年連続a評価と安定して高い評価となっており、多くの方が「大学のまち京都」でのくらしに愛着を感じていることがうかがわれる。						24 年度	A

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		26年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		25年度 決算額	26年度 予算額		
1	市立芸術大学移転整備構想の策定と西京区・洛西地域の活性化の取組	—	29,389	—	行財政局
2	大学コンソーシアム京都との協働による大学政策の推進	8,916	8,102	良い	総合企画局
3	未来の京都創造研究事業	28,506	27,249	良い	総合企画局
4	京都企業と連携した次代の京都を担う人財の育成	—	9,572	—	総合企画局
5	大学施設整備支援誘導事業	9,806	9,806	かなり良い	総合企画局
6	大学のまち交流センター(キャンパスプラザ京都)	189,256	209,840	—	総合企画局
7	大学のまち京都・学生のまち京都次期基本計画策定	10,741	—	—	総合企画局
8	安心・安全な学生生活を送るためのハンドブックの作成	—	3,072	—	総合企画局
9	京都市大学のまち交流センター施設改修(空調機器)	—	4,626	—	総合企画局
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

- 大学間連携による「学びの環境」の充実を図るため、「単位互換制度」未参加の大学コンソーシアム京都加盟大学・短期大学に対し「単位互換制度」への科目提供を働きかける。
- また、各大学に「公開講座」の開講を働き掛けるとともに、社会人を対象とした生涯学習事業「京カレッジ」を、受講生にとって、より分かりやすく、また、毎年好評いただいている京都力養成コース「京都学講座」をはじめとした京都ならではの科目など、多様な魅力を広報することで、個性あふれる大学が集積している利点を生かした「学びの環境」の充実に取り組んでいく。

施策名	1101	京都で学び、住み続けたいとなる「大学のまち」の実現				
指標名	大学コンソーシアム京都加盟校に占める単位互換制度参加大学・短期大学の割合（％）					
担当課	総合政策室		連絡先	222-3103		
1 指標の説明						
大学コンソーシアム京都加盟校に占める単位互換制度参加大学・短期大学の割合						
2 指標の意味						
「大学のまち京都」の活性化に向けた「学びの環境」の充実状況を示す指標			3 算出方法・出典等			
			出典：（公財）大学コンソーシアム京都，総合政策室調べ			
4 数値						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	24年度	25年度		数値	根拠	達成度
数値	96	96	増減なし	100.0	全ての大学コンソーシアム京都加盟校が単位互換制度に参加	96.0%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値		100%	32年度	96.0%	全ての大学コンソーシアム京都加盟校が単位互換制度に参加	施策の目標である「大学連携の力を生かした「学びの環境」の充実」の状況をより実態的・具体的に把握できる指標に変更した。
5 評価基準						
最新数値の目標値に対する達成度が a：95%以上～100% b：90%以上～95%未満 c：85%以上～90%未満 d：80%以上～85%未満 e：80%未満			6 基準説明			
			・目標値から5%刻みでa～e評価			
7 評価結果						
24		25		26		
-		-		a		